

索道事業安全報告書（2024年）

梺池ゴンドラリフト株式会社



梺池ゴンドラリフト

2023年8月1日～2024年7月31日

【梺池高原スキー場】

梺池ゴンドラリフト、梺池ロープウェイ、つが第1ペアリフト、つが第2ペアリフト
からまつ高速ペアリフト、しらかばクワッドリフト、ハンの木第1クワッドリフト
ハンの木第3クワッドリフト、ハンの木高速ペアリフト

索道事業安全報告書は、当社における索道輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態をまとめたものです。本報告書をお読みいただき、ご意見・感想をお寄せください。

1. ご利用のお客様へ

当社の索道事業に対しまして、ご利用とご理解を賜り、誠に有難うございます。

当社は、経営理念の第一に「安全の確保」を掲げ、法令の遵守とともに、日々、安全輸送に努めております。皆様が当社に寄せる「信頼」の基本となる「安全」と「安心」であることを常に認識し、お客様に対応しております。鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態・方法について、自ら振り返るとともに、ご利用していただくお客様に広くご理解いただくために索道安全報告書を公表いたします。皆さまからの声を輸送の安全に役立てる為に、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

梅池ゴンドラリフト株式会社
梅池高原スキー場
代表取締役社長 久保 恒雄

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げております。

- ① 一致団結して輸送の安全確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び規定をよく理解すると共にこれを遵守し、厳正忠実に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の遂行に努め、疑義のある時は、「安全は全てに優先する」として最も安全と思われる取り扱いに努める。
- ⑤ 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置を行う。

(2) 安全目標

今年度、索道運転事故及び乗降場での事故発生件数は2件でした、今後も安全基本方針を基に安全・安心な索道運行に努めて参ります。

2023年8月～2024年7月 索道輸送安全目標は次のとおりです。

- (1) 索道事故発生件数ゼロ (0) を目標とする。
- (2) 係員が起因となる乗降場での事故発生件数ゼロ (0) を目標とする。
従業員教育、過去の索道事故事例、ヒヤリ・ハットの活用、学ぶことにより事故防止に努める。

3. 事故等の発生状況と運休状況

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

本年度、国土交通省への報告は2件ありました。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

災害による運行停止はありません。

(3) インシデント（事故の兆候）

本年度、国土交通省への報告はありません。

(4) 行政指導等

本年度、国土交通省からの指導はありません。

4. 索道輸送の安全確保に関する当社の取組み

(1) 索道スタッフ教育

索道安全運行マニュアルを作成し新人研修および、シーズン開始時に安全運行に関する研修・救助訓練を実施しています。研修は経験者、未経験者に関係なく、スタッフ全員が研修を受けられるよう数回に分けて実施し、研修は安全運行マニュアルの修得及び救助訓練に加え、サービス研修や過去の事件事例をもとにした、トラブル対応などを含めた内容にて実施しています。また、シーズン中においても定期的なミーティングを行うとともに、トラブルやヒヤリ・ハット事例を常時収集・共有し対策を講じています。また、他スキー場も含めた事故・トラブル事例も速やかに共有し注意喚起と安全向上に努めています。



ゴンドラリフト 救助訓練

グループ会社の取り組み

日本スキー場開発(株)グループ会社では事故・トラブル、ヒヤリ・ハットについて、他事業者を含む事例の分析や対策、技術情報の共有を行い安全性の更なる向上に努めております。(2) 緊急時対応訓練

毎年、シーズン営業開始前に、各所従業員一同にて救助訓練を実施しています。また、予備原動装置を備えた索道ではこれを活用した訓練を実施いたしました。

5. 索道保安設備の維持管理・改修

安全のための投資と支出

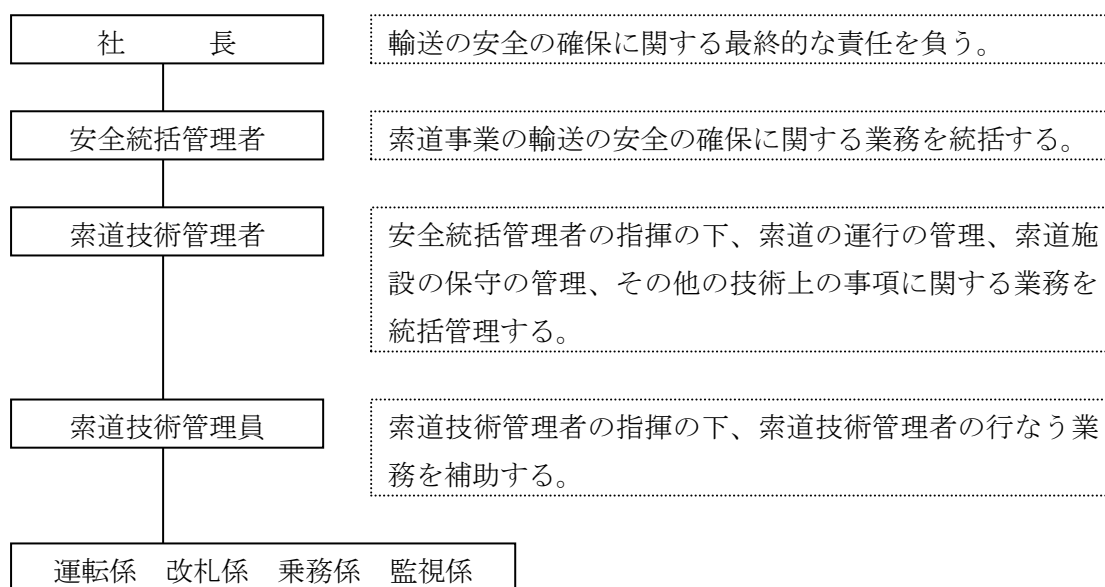
安全の維持向上のため、整備細則に基づき点検、整備及び検査を実施しました。

本年度は、ゴンドラリフト及び高速リフトの握索機等オーバーホール、線路部品の交換工事、ロープウェイ原動滑車整備、ペアリフト折返し滑車整備を実施しております。

6. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

また、危険予知を導入し、日々の業務に反映させております。



役員による場内巡回

当社役員が定期的に当スキー場を巡視し、スタッフとの意見交換を通じて安全管理状況を確認しています。上記の安全管理体制により、安全マネジメントの PDCA サイクル機能の検証、内部監査等を通じて定期的に確認し、その結果により適時改善を行っています。

7. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) お客様の声をかたちにしています

場内にお客様の声をお聞かせいただけるよう、ホームページ内に「お問い合わせフォーム」を設置し、安全やサービスレベル向上の参考とさせて頂いております。ご来場の際にお気づきの点がございましたら何なりとお知らせください。また、当スキー場ホームページでもお待ちしております。

(2) 注意事項とお願い

スキー、スノーボード、登山等は、もともと大自然を楽しむスポーツです。その中には事故につながる恐れのある要素が内在します。標示の有る無しにかかわらずスキー場のコース内外や登山道の状況を判断し、事故を起こさない事、また自然災害に巻き込まれる事のないよう十分注意してください。

また、林間コース等一部狭い箇所もありますので注意して滑走してください。

当スキー場では、事故を無くすよう常に努めておりますが、安全のために大切なのは何よりもまずお客様の注意深い行動であることを忘れないでください。

1. 吹雪、強風、雨、霧、雷などの天候にはご注意ください。
2. 急斜面、凸凹、地形に注意願います。
3. アイスバーン、雪崩など雪の状態に注意願います。
4. 岩石、立木、自然の障害物への衝突に注意願います。
5. リフト施設、建物、雪上車輛など人工の障害物に注意願います。
6. 他のスキーヤー・スノーボーダーとの接触に注意願います。
7. お客様に合ったコースを選び怪我には十分注意願います。
8. スキー場内では、パトロール、係員の指示や忠告に従ってください。
9. 当スキー場管理区域外での滑走は責任を負いかねます。
10. 当スキー場ではこの告知及びスキー場の行動規則の無視、軽視による事故には責任を負いかねます。
11. 他人に迷惑を与えるスキーヤー・スノーボーダーには退場していただく場合があります。

(3) リフト乗降時の注意事項

リフトご利用の際には係員の誘導に従い、落ち着いてご乗車下さい。乗車中は、深く腰掛け安全バーのご利用をお願い申し上げます。

8. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

〒399-9422

長野県北安曇郡小谷村大字千国乙 12840 番地 1

梅池ゴンドラリフト株式会社

TEL 0261-83-2255 FAX 0261-83-2002

E-mail tsugaike@nsd-hakuba.jp

株式会社 白馬館

索道安全報告書 (令和5年度版)

令和6年7月1日発行



利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。

当社は経営理念の第一に安全確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき輸送の安全の実態について自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

株式会社 白馬館 代表取締役社長 松沢 貞一

1. 基本方針と安全目標

a. 基本方針

当社の経営理念の第一は安全確保です。

安全基本方針を次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

1. 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
2. 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（本規則含む。以下、「法令等」という。）をよく理解するとともに、これを遵守し厳正・忠実に職務を遂行します。
3. 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
4. 職務の実施にあたり推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
5. 事故・災害が発生した時は、人命救助を最優先に行動し速やかに安全適切な処置を取ります。
6. 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
7. 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

b. 安全目標

索道輸送安全目標（2024年8月～2025年7月）は次表のとおりです。今年度は事故及び人身障害はありません。引き続き目標達成に向けて取り組みます。

- ① 索道事故発生件数をゼロ0を目標とする。
- ② 係員の起因としての乗降場での事故発生件数ゼロ0を目標とする。

2. 事故等の発生状況とその再発防止措置

- 索道運転事故（索道人身障害事故）

令和5年度、索道運転事故はありません。

- 災害（地震や暴風雨、豪雨など）

令和5年度、災害による運行停止はありません。なお、安全確保のため強風等の影響により運行停止した日がありました。

- インシデント（事故の予兆）

令和5年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

- 行政指導

令和5年度、行政指導はありません。

3. 輸送の安全のための取組み

- a. 人材教育

当社では、輸送や皆様の安全に役立つようシーズン営業開始前に施設及び取扱いについて安全教育を実施しています。

- b. 緊急時対応訓練

毎年、シーズン前に大北地区索道事業者協会と北アルプス広域消防本部、当社にて救助訓練を実施しています。



c. 安全のための投資と支出

令和5年度は安全維持・向上のため、スカイライナーⅡ・スカイライナーⅢ・ロマンスリフトにて整備オーバーホールを行いました。

- スカイライナーⅡ アクセンの交換・索受け整備
- スカイライナーⅢ 握索機のオーバーホール
- ロマンスリフト 制御盤のマグネットコンダクター交換

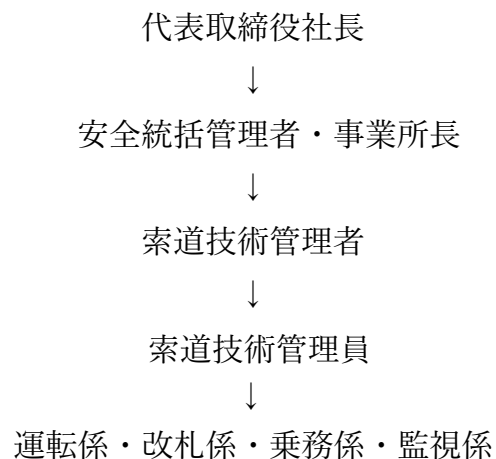
d. 整備

シーズンオフに細部にわたり点検整備を行っております。



4. 当社の安全管理体制

- 社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にします。



役 職	責 務
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道全般の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上及び係員教育等の事項に関する業務を補助する。
索道技術管理	索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行を管理、施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を管理する。

5. 利用者の皆様へのお願い

•リフト乗車時の注意事項

1. 乗り方に慣れないお客様は係員にお申し出下さい
2. 空き缶・たばこの吸殻・その他物品をご乗車中のリフトから投げ捨てないで下さい
3. 搬器から飛び降りたり搬器を揺らさないで下さい
4. 衣服・携帯品・髪の毛などが施設に巻きつかないように注意して下さい
5. 改札後は係員の指示に従って下さい

6. ご連絡先

•〒399-9422

長野県北安曇郡小谷村千国乙12840-1

株式会社 白馬館

樽池事業所 お客様係

TEL.0261-83-2112 FAX.0261-83-2744